

1 学校教育目標 自ら学び、やさしく、たくましく生きる「弥生っ子」の育成 ～ 気持ちのよい学校にしよう ～ 【豊かな心】 やさしく 助け合う子 (心の教育) 【確かな学力】 よく学び よく考える子 (学力向上) 【健やかな体】 いきいき 元気に活動する子 (体力向上) -子供たちにとって「通いたい学校」「楽しい学校」「安心できる学校」となることを目指す。 -「元氣なあいさつ」、3つの「や・よ・い」の意識、徹底によって目標の浸透を図	2 本年度の重点目標 ①心・学び・健康のプロジェクトを実践化に努める。 ・支持的風土に支えられた学級経営の実施、教科「日本語」の推進、道徳教育の充実を図る。 ・学習基礎の確立(学習指導)、「学習の約束7か条」による小中一貫9年間の教育の充実を努める。 ・基本的な生活習慣の向上(挨拶、掃除、食生活)、安全・安心な給食の供給と食育の推進を目指す。 ②全職員が一体となって、教育の質の向上、問題行動の対応、服務規律保持に努める。 ③子供の安心・安全の体制作りを常に心がけたり、学校の情報や案内の積極的な提供を行った
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価						
①児童、保護者、地域に対して、心・学び・健康のプロジェクトの実践化に努めること。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
学校運営	●学校経営方針	・学校経営ビジョンの説明 ・重点教育目標の周知	・児童、保護者、地域への学校経営ビジョン、重点教育目標の周知を積極的に行う。 ・児童に3つの目指す児童像「や・よ・い」を知っている児童の割合85%以上とする。	・職員には、職員会議、連絡会、学校便り等で周知、徹底をする。 ・児童には、めざす3つの児童像を覚えさせるために、毎朝の全校放送でのアナウンスの他、全校朝会での話や教室環境での掲示、マナー教室の質問などを行う。 ・保護者、地域には、学校だより、ホームページ、PTA役員会等で啓発をする。	総務	校長 教頭
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・定時退勤日(金曜日)の徹底 ・退勤時刻の意識化	・定時退勤日に19時以降降錠する日を5月からゼロにする。 ・通常も20時以降の勤務とならないよう退勤時刻を意識した働き方の定着を目指す。	・保護者や地域への周知と共に教職員には、定時退勤日を掲示物や配布物等で強く意識させ、行動化させる。 ・通常の降錠時刻も昨年度よりも早く、終わりの時間を意識した働き方を徐々に定着させていく。	総務	校長 教頭
教育活動	●学力の向上	・校内研究の充実 ・学習基盤の確立と学習指導の充実	・算数科を中心として教科における学力(活用力)向上を図る。 ・全国、県学習状況調査、標準学力テスト等の分析を行い、成果と課題を明確にするための研修会を実施する。	・算数科の研究授業等を通して、学習指導の充実、分かる授業の推進について、指導方法、機器利用について研修を深める。 ・全国、県学習状況調査の結果を中心に分析をして、教育課程、授業改善に反映する。	校内研究	山内
教育活動	○教師の質の向上へ向けたICT活用教育の実施	・ICT活用で分かる授業の推進	・各教科の指導で、ICTを活用し、楽しく分かりやすい授業を推進し、書画カメラをよく使う学級担任の割合を90%以上とする。	・デジタル教科書や書画カメラの活用状況を職員会議で確認したり、ICT機器利用の研修を実施したりする。	情報教育	成富 武田
教育活動	●心や志を高める教育	・道徳教育、教科「日本語」教育の充実 ・地域のもの・人・自然を通じた体験活動の推進	・授業参観等で、ふれあい道徳、教科「日本語」の授業を全クラスで公開する。 ・県主催文化事業、地域人材、PTA活動等の連携による体験活動を重視する。 ・学校アンケートで、夢や希望、目標の実現に向けて努力する意識の評価を70%以上にする。	・学級担任が、授業参観で保護者に対して年1回の教科「日本語」及び道徳の公開授業を行う。 ・学校行事、学年行事の中に、様々な体験活動、交流活動を計画的に位置付けて、積極的に交流を行う。	教科主任 地域連携	田中由 竹之内 松岡
教育活動	●健康・体づくり	・体づくり(外遊び)の奨励 ・安全、安心な給食の供給と食育の推進	・外遊びの奨励等で運動の習慣化を呼びかけると共に、スポーツチャレンジへの参加学級を昨年度よりも増やす。 ・早寝、早起き、朝ごはんの習慣化啓発して80%以上を目指したり、給食の残菜率を6%以下を目指す。	・新体力テストの経年比較を通して、体力向上プランを作成する。望ましい運動習慣の定着を図ると共に、スポーツチャレンジへの参加を促す。 ・基本的な生活習慣及び望ましい食習慣を身に付け、健全な心身の発育や発達を促すために、給食、食育指導の充実を図る。	体育的行事 食育給食指導	太田 松岡
②全職員が一体となって、教育の質の向上、問題行動の対応、服務規律保持に努めること。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	◎教育の質の向上	・学力向上につながる指導方法の改善	・児童が、主体となって考えたり話し合ったりできるように一単位時間の学習過程の在り方を研究する。	・学年間、教員間で、指導方法、機器利用について情報共有ができるように、校務管理を明確にしたり共同作業の時間設定をしたりする。	学力向上	主幹 教諭
教育活動	●いじめ問題への対応	・心の教育の充実による未然防止とアンケート等による実態把握。	・嫌なあだ名で呼ばない等を含め、言葉の使い方の指導を徹底し、未然防止に努める。 ・2か月に1回は、アンケートを実施し、実態把握を確実に実施する。	・毎月10日の鳥栖市いじめいのちを考える日の放送やいじめに関するアンケート等を確実に実施し、実態把握に努める。 ・発生した事案については、市教育委員会や県教育委員会への報告と共に関係した児童への指導及び支援、保護者への連絡等を確実に実施する。	教育相談 生徒指導	主幹 教諭 石井
教育活動	○不登校傾向や問題行動等への対応	・問題行動の未然防止及び迅速な対応	・教育相談担当、スクールカウンセラー等との連携の強化を図り、定期的な教育相談、児童支援委員会の実施をする。 ・生徒指導連絡会による学校全体の情報共有を行う。	・校内体制を整え、学期1回以上、検討会や支援会を設ける。また、保護者には、支援的な立場での相談体制を受け付けて、問題の早期解決につなげる。 ・月の生活目標を設定し、教室や廊下に掲示して意識化させると共に連絡会でも月の目標の達成状況等について、情報交換をして、組織的な取組で目標の達成を図るようにする。	教育相談 生徒指導	主幹 教諭 加藤 秦
教育活動	○服務規律保持	・交通加害事故の防止 ・危機管理意識の向上	・交通加害事故0、学校教職員不祥事0へ向けて、毎月、服務規律保持について全職員に指導をする。 ・服務規律保持の校内研修を長期休業中に実施し、危機管理意識を高め、不祥事防止や交通加害事故ゼロを目指す。	・服務規律に関する通知文の周知を確実に実施する。同時に、毎月、職員会議で交通事故発生状況の事案説明をして、交通事故防止の徹底を図る。 ・服務規律保持、セクハラ防止等の研修会を通して、恒常的な意識化を図る。また、毎月の職員会議で具体的な事例を管理職から示し、交通加害事故の未然防止を徹底する。	服務	校長 教頭
③子どもの安心・安全の校内体制作りを常に心がけたり、学校の情報や案内の提供を積極的に行ったりしていくこと。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	○安心・安全な校内体制と教育環境整備	・安全・安心な教育環境の提供 ・給食に関する事故の未然防止	・毎月の安全点検を確実に実施し、危険箇所がないか、全職員で児童のために安全、安心な環境を提供し、施設の瑕疵による事故ゼロを目指す。 ・安全安心な給食を提供し、給食による事故ゼロを目指す。	・組織的に安全点検ができるように学年部の係を今年度から置く。また、危険箇所はすぐに対応できる体制を整え、学校で難しいものについては、確実に市教育委員会へ報告を行う。 ・異物混入やアナフィラキシーショック等、緊急時対応を迅速に、かつ、正確に行うための校内研修を実施する。また、食物アレルギー児童への対応を確実に実施し、組織的に事故防止に努める。	安全指導 食物アレルギー	船津 松岡
教育活動	○積極的な学校の情報提供	・学校ホームページの充実と学校だよりの月2回程度の発行 ・区長会、民児協等への案内配付、情報提供	・学校ホームページに学校での配布物はすべて掲載する共に子供たちの活動の様子を週に3回以上掲載をする。 ・区長会、民児協等への学校行事等の案内配付、情報提供を確実に実施し、地域との連携を大切にする。	・学校ホームページ(週3回程度)、学校だより(月2回程度)によって、学校の様子や子どもたちの様子を定期的に配信する。 ・月1回の区長会、民児協等で学校行事(入学式、卒業式、運動会等)、学校だより等を確実に配付する。	HP担当 地区担当	主幹 教諭 校長 教頭
本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
学校運営	○開かれた学校づくり	・地域行事、PTA行事等への教職員の参加をさらに進めるため、保護者及び地域との連携強化・望ましい生活習慣及び食習慣の形成	・ゲストティーチャー招聘を勧め、地域との連携を強化し、各学年1つは地域人材を活用した授業を行う。 ・地域行事に児童、教職員ができるだけ協力し、参加するようにする。	・地域と共に子供たちを育てるため、ゲストティーチャー招聘を積極的に行い、連携を強化する。 ・文化祭など、まちづくり推進センターを中心とした地域での活動にできる限り協力をして、作品を出品したり、参加したりするようにする。	HP担当 地域連携	主幹 教諭 松岡
学校運営	○学習環境整備	・自己肯定感を高める教室環境づくり ・UD教育に配慮した環境づくり	・子供のよさを認め、自己肯定感を高める学習環境の充実。 ・学習へ集中できるUD教育に配慮した環境作り、授業づくりに努める。	・子供の作品を単に掲示するだけでなく、がんばりを認める朱書きを必ず入れるようにする。 ・教室の前面掲示はできるだけ少なくして、学習へ集中できる環境にすると共に授業では、1時間の流れを示し、見直しをもって授業を進める。	校内研究	山内

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目